

本校は児童数631名、学級数24学級の学校です。運動場には芝生があり、昼休みにするとその芝生の上でボール遊びをしたり、寝転がったりと元気いっぱい遊ぶ子どもたちの姿が見られます。子どもたちは明るく、素直で、また、長い歴史を引き継ぐ本校は、現在3代目となるシンボルの「大松」が子どもたちの成長を見守り続けています。「心もからだも、わたしのよ

うに強くなれ」勉強にもせいで世の中に役に立つ人になれ」という大松の教えのもと、「かがやきいっばい、南の子」を学校教育目標に全職員が取り組んでいます。

本校は、愛知県との県境近くに位置し、校舎からは南に広がる遠州灘を見渡すことができます。近くには大企業の工場が数多くあり、一方、農業も盛んであり、東海道五三次の宿場町としての面影が今なお残る歴史深い地区です。本校へ入学してくる生徒は白須賀小学校一校からであり、小・中学校は同じ敷地内にあります。そのため、小中連携事業が多く行われているのが特徴です。生徒数は一五名(四学級)と少ないですが、本年度は男子バレーボール部が県大会で優勝するなど、部活動にも力を入れています。学校教育目標を「学びの喜びに満ちた白須賀中学

が一丸となり、誇りを活かして日々の教育活動に携わっています。1週間、起床・就寝時刻、朝食の有無や内容、排便、帰宅後の過ごし方について子どもたちや保護者が振り返るとともに、実態を調査しています。「南の子の生活」は体育部で集計・分析を行い、学校保健委員会での結果を報告したり、懇談会で調査結果を話題にし、家庭での子どもの生活について話し合ったりと、生活習慣確立への意識の向上や啓発活動につなげています。また、毎月15日の健康の日には、子ども

管理の基礎を築いていく時期。養護教諭の対応や教えがその子の一生のものになる」と教えて頂いたことがあります。私はその言葉に責任とやりがいを感じました。保健室がもっと健康教育の場として機能し、子どもたちが健やかに成長・自立していけるよう、子どもたちに寄り添い、支援していきたいと思っています。



本校の健康課題として一番気になることは、学年が上がるにつれ、朝食を食べない児童が増えていることです。そこで、本校では毎年5月に全校を対象に「南の子の生活チェック」という生

活習慣の実態調査をしています。1週間、起床・就寝時刻、朝食の有無や内容、排便、帰宅後の過ごし方について子どもたちや保護者が振り返るとともに、実態を調査しています。「南の子の生活」は体育部で集計・分析を行い、学校保健委員会での結果を報告したり、懇談会で調査結果を話題にし、家庭での子どもの生活につ

間での共通理解に沿った指導体制を整いやすいので、保健室での生徒の現れや家庭的背景を含めた現在までめられています。また、心身ともに生徒一人一人の心に寄り添いながら心身の健康の安定を図ることができるよう努め、1人でも多くの生徒が「学校生活って楽しい」と感じられるような支援をしていきたいと思

徒が学校の中で安心できる場を見つかることで、学校生活に全力で臨んだり、困難に立ち向かったりできることを願っています。



養護教諭 佐藤 美希

### 磐田市立磐田南小学校

「確かな学力」「思いやりの気持ち」「たくましい心と体」の育成を目指して、全職員で日々教育活動に取り組んでいます。

生徒は全体的に素直で落ち着いており、多くは進んで明るい挨拶ができます。しかし、個々に目を向ける

に目立つようになるといった様子も見受けられます。全国的にも中一ギャップ解消のための取り組みが進められています。また、心身ともに生徒一人一人の心に寄り添いながら心身の健康の安定を図ることが

できるよう努め、1人でも多くの生徒が「学校生活って楽しい」と感じられるような支援をしていきたいと思

います。

（平成24年3月31日現在）

### 湖西市立白須賀中学校

養護教諭 谷口 香里



と生活習慣の乱れや学校生活への不適応等の心配を抱えている生徒もいます。また、生徒の現す不適応行動を広く見据え、声をかけることが少なく、授業では全ての関係者で、生徒一人一人との信頼関係を築き、生徒にとって

支援できるようなので、入学当初から生徒の変化に注意を向けています。さらに、小学校時代とは異なる成長に気がつくため、声をかけることが少なく、授業では全ての関係者で、生徒一人一人との信頼関係を築き、生徒にとって

## げんきな事業所 磐田市役所

### (磐田市国府台三ー一)

磐田市は静岡県西部の天竜川東側に広がる地域で、奈良時代には、遠江国分寺と遠江国府が置かれ、江戸時代には東海道五十三次見付宿として繁栄するなど、古くから歴史や文化が積み重ねられたまちです。

現在の磐田市は、平成十七年四月一日に、市三町一村(旧磐田市、旧福田町、旧竜洋町、旧豊田町、旧豊岡村)が合併し、県内でも人口規模5位となる市となりました。

日本一のトンボの宝庫「桶ヶ谷沼」に代表されるような自然環境にも恵まれ、近年では、Jリーグ「ジュビロ磐田」の本拠地であるとともに、全日本高等学校女子サッカーが継続開催され「女子サッカーの聖地」と言われるなど、スポーツのまちとしても全国的に名を広めています。

この磐田市の中央に位置する磐田市役所には、市庁舎をはじめ総合健康福祉会館、支所、消防署、保育園、幼稚園、小・中学校及び図書館ほか公共施設等に約一三〇〇人(病院職員を除く)の職員が勤務しています。

さらには、市独自で、「公務災害防止のためのガイドライン」を作るとともに、職場ごとに安全担当者

を設け、各職場の業務内容に応じた具体的な安全マニュアルを作成し、作業時の安全に配慮するなど、安全衛生管理体制の整備を図っています。

また、安全衛生講習会への参加や啓発など、安全衛生活動の活性化にも努め、安全に対する意識向上に取り組んでいます。

このほかにも、メンタルヘルスに関する研修会を開催するなど、職員一人一人の健康の保持増進に努めています。

今後も、全職員が健康な体づくりを心がけ、「市民第一、現場第一」の行動第一をモットーに、市民の皆様が住んでよかった、住んでみたいと実感できるまちづくりの実現を目指して職員一人一人が取り組んでまいります。

（平成24年3月31日現在）



この磐田市の中央に位置する磐田市役所には、市庁舎をはじめ総合健康福祉会館、支所、消防署、保育園、幼稚園、小・中学校及び図書館ほか公共施設等に約一三〇〇人(病院職員を除く)の職員が勤務しています。

さらには、市独自で、「公務災害防止のためのガイドライン」を作るとともに、職場ごとに安全担当者

を設け、各職場の業務内容に応じた具体的な安全マニュアルを作成し、作業時の安全に配慮するなど、安全衛生管理体制の整備を図っています。

また、安全衛生講習会への参加や啓発など、安全衛生活動の活性化にも努め、安全に対する意識向上に取り組んでいます。

このほかにも、メンタルヘルスに関する研修会を開催するなど、職員一人一人の健康の保持増進に努めています。

今後も、全職員が健康な体づくりを心がけ、「市民第一、現場第一」の行動第一をモットーに、市民の皆様が住んでよかった、住んでみたいと実感できるまちづくりの実現を目指して職員一人一人が取り組んでまいります。



この磐田市の中央に位置する磐田市役所には、市庁舎をはじめ総合健康福祉会館、支所、消防署、保育園、幼稚園、小・中学校及び図書館ほか公共施設等に約一三〇〇人(病院職員を除く)の職員が勤務しています。

さらには、市独自で、「公務災害防止のためのガイドライン」を作るとともに、職場ごとに安全担当者

を設け、各職場の業務内容に応じた具体的な安全マニュアルを作成し、作業時の安全に配慮するなど、安全衛生管理体制の整備を図っています。

また、安全衛生講習会への参加や啓発など、安全衛生活動の活性化にも努め、安全に対する意識向上に取り組んでいます。

このほかにも、メンタルヘルスに関する研修会を開催するなど、職員一人一人の健康の保持増進に努めています。

今後も、全職員が健康な体づくりを心がけ、「市民第一、現場第一」の行動第一をモットーに、市民の皆様が住んでよかった、住んでみたいと実感できるまちづくりの実現を目指して職員一人一人が取り組んでまいります。



保健指導